

3 陳情第 42 号

3 陳情 第 4 2 号	西武鉄道新宿線の開かずの踏切対策に関する陳情
付託委員会	環境建設委員会
受理及び付託 年 月 日	令和3年11月15日受理、令和3年12月1日付託
陳情者	新宿区上落合 _____ _____ 会長 _____ 外1名
<p>(要 旨)</p> <p>1 新宿区は、西武鉄道新宿線の高田馬場駅から中井駅間の連続立体交差化に向けた検討を再び始めて下さい。</p> <p>2 そのために、当該区間の連続立体交差化について、新宿区は、東京都及び西武鉄道など関係者に対し強く働きかけをして下さい。</p> <p>(理 由)</p> <p>西武鉄道新宿線の高田馬場駅から西側の区内の踏切は、全て、いわゆる開かずの踏切になっております。下落合駅南口の改札を出た所にある踏切は、ピーク時の遮断時間が1時間のうち50分にも及びます。そのため、新目白通り、目白通り、上落中通りからの自動車は全く進む事が出来ず、大渋滞をおこし、緊急車両はもちろん、区民の身近な交通手段でもある、路線バスの運行にも大きな支障をきたすなど、日常の暮らしの中での大きな課題となっております。</p> <p>また、通勤・通学の際には、遅れることを危惧するあまり、下がっている遮断機を歩行者・自転車・オートバイなどが無理に渡ろうとした結果、痛ましい事故を過去に何度か繰り返しております。</p> <p>こうした中、西武鉄道新宿線の混雑緩和や、輸送力増強のために決定していた複々線化計画、いわゆる地下急行線の都市計画が、本年11月にも廃止されるとの事です。複々線化計画廃止により、開かずの踏切は未解決のまま残されてしまうことを大変懸念しております。</p> <p>このため、高田馬場駅から中井駅間について、決定済の都市計画の検証を行って頂き、沿線の住環境等に配慮した連続立体交差化に向けた検討が必要です。</p>	